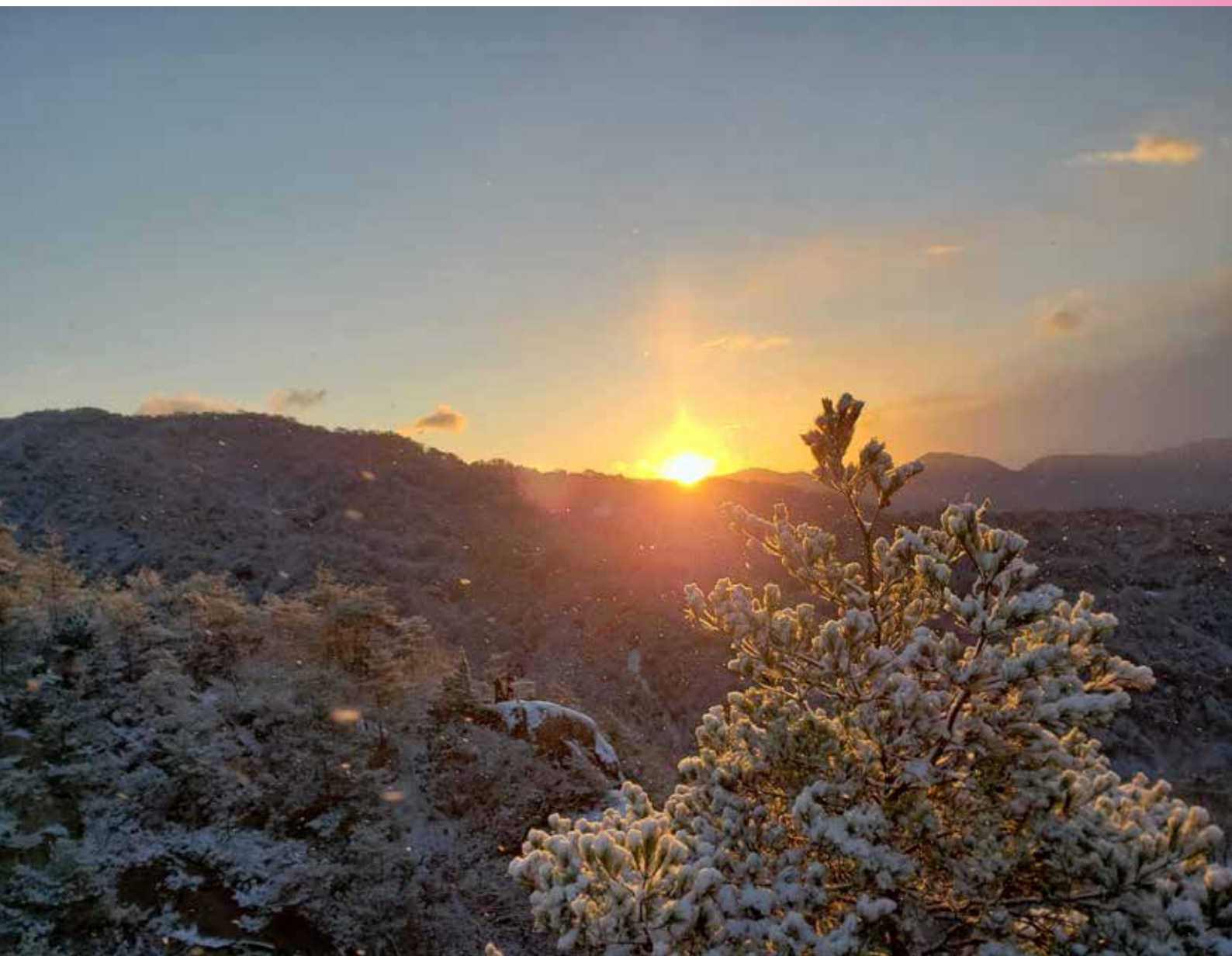


ふちゅう

町議会だより

第160号

令和3年2月1日
広島県府中町議会



岩谷観音から望む初日の出

< 目 次 >

- 令和元年度決算を認定 2～3
- 町議選も公営に 4
- 町政のここが聞きたいQ & A 一般質問
遺跡の保護と活用は ほか 5～11
- 人事院勧告に準じ、期末手当の支給割合を改定 ほか 12

引き続き災害復旧を確実に推進

令和元年度決算を認定



消防設備を確認（消防本部）

なお、当委員会は、12月18日に令和元年度決算にかかわるもののうち、2カ所の現地踏査を行いました。

まず、消防本部に赴き、当町の消防力についてをテーマに、老朽化に伴い

更新した消防4号車（可搬ポンプ積載車）や消防施設などの説明を受けました。

次に、向洋駅周辺土地区画整理事業の進捗状況を、現地に赴き調査確認しました。

また、地区内の都市基盤は未整備な所が多く、老朽化した建物が密集しています。商業施設も小規模なものが多く、活気に欠けています。

●同地区の事業目的は
向洋駅周辺地区は、地区のほぼ中央をJR山陽本線が縦断しているため、鉄道による交通障害が生じています。

このため、JR山陽本線の連続立体交差事業に合わせ、道路や公園などの公共施設の整備と既存市街地の再編による宅地の

の利用増進を図り、広島都市圏東部の拠点、また町の南の玄関口としてふさわしいゾーンの創出を目的としています。



区画整理の状況について説明を受ける（向洋駅南口）

●土地区画整理事業とは
権利者から土地を少しずつ提供してもらい、この提供してもらった土地で道路や公園などの公共施設を整備し、土地の区画を整え、宅地の利用増進を図る事業です。

これにより権利者の土地は少し減りますが、利便性が良くなった所に住み続けることができることが土地区画整理事業のメリットです。

向洋駅周辺土地区画整理事業

令和元年度の一般会計の歳入は、前年度と比較して個人町民税が6123万円、固定資産税が2415万円とそれぞれ微増となったものの、法人町民税が2億6933万円減となり、町税全体では、1億6766万円減の73億8799万円となりました。歳入総額は、4億5430万円増の177億7350万円です。歳出は、平成30年7月

豪雨災害の災害復旧事業として、3億2433万円を執行し、林道をはじめ土木施設等の復旧工事を行いました。引き続き、災害に強い「安心・安全なまちづくり」を推進します。また、主要事業である向洋駅周辺土地区画整理事業（4億2755万円）や公共下水道整備事業が継続して実施されました。

また、府中公民館等改

1 町税及び各種使用料手数料等の収納については、新型コロナウイルス

決算の審査にあたり、委員から多くの意見がありました。委員は、主な意見として次の4つを委員会が報告しました。

4 執行率の低い事業については、事業評価、原因究明や見直しをし、つかり行うなど、住民ニーズに合った事業を展開されたい。

審査過程における委員からの主な意見

築事業の工事にも着手するなど、歳出総額は5億4488万円増の177億2823万円です。

2 町税・各種使用料手数料やふるさと納税等の納入については、より納入者の利便を追求し、Webサイトの活用など多様なキャッシュレス化の推進を検討されたい。

3 町に所在する文化財の保護に努めるとともに、長い歴史を持つ府中町の魅力を知ってもらうため、情報発信を関係団体とともに進めてもらいたい。

令和元年度 各会計決算額

区分		歳入総額	歳出総額	実質収支額
一般会計		177億7,350万円	177億2,823万円	743万円
特別会計	土地取得	0万円	0万円	0万円
	国民健康保険	47億2,303万円	47億1,317万円	986万円
	介護保険	39億3,779万円	38億6,007万円	7,773万円
	後期高齢者医療	7億4,545万円	7億4,373万円	172万円
合計		271億7,977万円	270億4,521万円	9,673万円

※万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

町議選も公営に

12月定例会

令和2年第9回定例会を12月11日から22日までの12日間の会期で開催し、町提出議案11件、議員提出議案4件の審議と一般質問等を行いました。

このうち、令和元年度歳入歳出決算の認定については、決算審査特別委員会を設置し、委員会付託審査としました。

本定例会では、令和元年度歳入歳出決算を含む町提出議案、議員提出議案ともすべて原案どおり可決し、閉会しました。

公職選挙法では、お金のからまない選挙を実現するとともに、選挙の公平性を確保するため、候補者の行う選挙運動の費用の一部を公費で負担する「選挙公営制度」が設けられています。

このたび、公職選挙法の一部が改正され、町村議会の議員および町村長の選挙が、新たに選挙公営制度の対象となるため、府中町における選挙公営の条例が定められました。

府中町議会議員および府中町長の選挙における候補者が「選挙運動用自動車の使用」、「選挙運動ビラの作成」、「選挙運

動用ポスターの作成」の有償契約を締結し、府中町選挙管理委員会に所定の届け出を行った場合は、条例に定める負担限度額の範囲内で、その費用を町が負担します。

ただし、得票数が法定

◆一般会計補正予算
【主な内訳】

●新型コロナウイルス
ワクチン接種体制確保
事業
1038万円

国の「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要項」に基づき、ワクチンの供給が可能になった場合、速やかに町民に接種を行えるよう、現時点で行えるワクチン接種の準備（コールセンター設置等）のための経費です。

議員提出議案

地方自治法第99条の規定により、次の4件の意見書を原案のとおり可決し、内閣総理大臣ほかに提出しました。

○学校教育環境の体制整備改善を求める意見書

全会一致可決

○コロナ禍における自動車関係諸税の見直し及び負担の軽減を求める意見書

賛成多数可決

○小中学校の全学年で少人数学級の実現を求める意見書

全会一致可決

○「黒い雨」裁判の控訴取り下げを求める意見書

全会一致可決

一般質問

町政のここが聞きたい Q&A

町行政全般に対し、17件の一般質問が14人の議員から提出され、町執行部の所信をたしました。



梶川 三樹夫 議員

Q 遺跡の保護と活用は A 広報し教育に生かす

梶川 三樹夫 議員
下岡田官衙遺跡が国史跡に指定される予定で、継続的な保護と活用が求められます。学術上高い価値があり、府中町にとって大きな歴史的な宝です。

①下岡田官衙遺跡をどのように発信していくのでしょうか。

②町の歴史民俗資料館において、下岡田官衙遺跡の展示はどのようなになるのでしょうか。

民俗資料館を活用して当町の歴史を学ぶ機会をつくり、必要な資料も作成します。

②新歴史民俗資料館では、より分かりやすく親しみやすい展示を目指します。古代のコーナーにおいて壁面に歴史の大きな

流れを解説するとともに、下岡田遺跡から出土した瓦、土器、木製品などを展示します。当時の建物や人々の生活の様子を映像に映し、今まで以上に理解しやすい展示を心掛けます。



積極的な活用が期待される下岡田官衙遺跡（昭和42年）

齋藤 昇 議員



齋藤 昇 議員

Q 児童虐待最多への対応は A 予防的支援を強化

新型コロナウイルス感染症の拡大による、虐待やDVの増加につながるリスクも指摘され、危機感を持って注目していく必要があります。府中町の児童虐待の実態と現時点での取り組みを伺います。

234件、虐待のある要保護児童数は163件、特定妊婦を含む要支援児童数は71件です。

児童相談所や関係機関との連携を図り、児童虐待の通告があった場合には、48時間以内に目視による児童の安全確認を行っています。

来年度、国のプランに沿って「子ども家庭総合支援拠点」を設置する予定です。特に要支援児童および要保護児童等の支援業務の強化を図り、子育て世代包括支援センターと一体的に支援を実施していきます。

また、令和元年度から、県と共同でさまざまなリスクを抱える子どもたちを多面的・継続的に把握し、AIを活用した予防的支援を行う仕組みを構築する「子どもの予防的支援構築事業」を進めています。

福祉保健部長
町の相談・通告の対応件数は、令和元年度

コロナ禍の中、オンラインの相談等を取り入れ、虐待の兆候把握に努めています。



狩野 雄二 議員

狩野 雄二 議員

Q 聞こえにくい地域の周知は A 積極的な広報を行う

防災行政無線放送が聞こえない、聞き取りにくい現状について、次のことを伺います。

- ①町内44カ所の設置基準は。
- ②難聴エリアの調査方法とその結果を受けての対応策は。
- ③聴覚・視覚障がい者、放送が聞こえにくい地域の対象者の人数と周知の方法は。



確実な伝達方法を

総務企画部長

- ①昭和61年、有線放送からアナログ式設備への切り替えの際、民家の集合している地域の中心で、公共施設がある所を選定し、町内住宅地域全体に届くようにスピーカーの種類などを設計し、設置しました。

- ②意見が特に多い箇所を中心に20カ所選定し、試験放送により専門の調査員が聞こえ方・明瞭度・音圧測定を行います。結果を基に、スピーカーの増設など改善方法を検討します。
- ③令和元年6月から固定電話やFAXでの配信を開始しています。

ですが、登録者数は17名です。周知はホームページ・広報ふちゅう・福祉課など窓口での案内、町内会での呼び掛けや出前講座も行っています。引き続き、積極的な広報を行い、必要な方が登録できるよう努めます。



二見 伸吾 議員

二見 伸吾 議員

Q 特別支援教育の現状と課題 A 障がいに応じ丁寧に対応

障がいにより学習上や生活上の困難を抱えている児童生徒の可能性を最大限に伸ばすため、状態に応じて一人ひとりに合った適切な指導と支援が必要です。特別支援教育の充実が求められており、町の取り組みについて伺います。

- ①当町において、特別支援学級はどのようなものか。
- ②通級の指導の特徴、指導の実際はどのようなものか。

また、教員以外にも町費で教育支援員を配置し、障がいの状態に応じ丁寧な指導に取り組んでいます。

- ②町では、平成26年度に通級指導教室を府中南小学校に設置しました。現在、小学校2校、

中学校2校に通級指導教室を設置し、教員を配置しています。教員が配置されていない学校に通級の対象となる児童・生徒が在籍している場合には、教員が巡回し、指導に当たっています。



児童・生徒に寄り添った指導を

教育部長

- ①特別支援学級は、障がいの種別ごとに学級を設置しており、状態に応じ具体的な目標と内容を設定して、授業を実施しています。



寺尾 光司 議員

Q 三世代同居・近居の支援を A 有用な施策として研究



三世代同居・近居の支援を

果では、子育て・教育・防災のさらなる強化を望む声が多くなっています。

また、「子育て世代が居住を選択するまち」を目指す方向性を継続することから、現時点では裾野を広く推進していく方針で、ピンポイント的な三世代同居・近居の支援は考えていません。

しかし、昨今、行政課題は短いスパンで変わり、子育て世代のニーズも多様化し、常に最適な人口減少対策を模索する必要があります。

三世代同居・近居の支援は、有用な施策として、近隣自治体の状況も参考にしながら、今後も研究を進めます。



田中 伸武 議員

田中 伸武 議員

Q 積極的な情報公開を A 条例改正を検討

府中町情報公開条例の制定は昭和58年であり、近年の国民の知る権利意識の高まりに対応しきれいていません。条例では、情報公開の請求権者は「住民」、公開の対象となる文書は「決裁、供覧の手続きが終了したもの」となっていますが、「情報公開法」においては、それぞれ「何人も」、

「行政機関が保有しているもの」です。より開かれた町政を目指し、条文を見直すべきだと考えますが、町の見解を伺います。

総務企画部長

当町は全国で4番目に情報公開条例を制定し、住民の情報公開を求める権利を保障するとともに、開かれた町政の象徴として、適正

町長

国や広島県、県内他市町の条例を参考にしつつ、今の時代に応じた条例へ作り替えることが必要だと考えます。同時に、情報の公開を求める権利の保障、町政の公正な執行と信頼の確保、町政の一層の発展といった理念は継承していきます。

その他の質問

- ・下岡田遺跡の国史跡指定と文化行政について
- ・高齢者の移動支援について



時代に合った情報公開を



イノシシなどを捕獲する箱わな

カ山 彰 議員
近年、イノシシやシカが住宅地にまで出没するようになっています。野生鳥獣が増え続ければ、これまで以上に住宅地に出没し、人にも危害が及ぶのではないかと危惧しています。積極的な野生鳥獣の捕獲が必要と思います。

町民生活部長
①町民からの通報では、令和2年度は11月まで

- 次のことを伺います。
①野生鳥獣による被害状況。
②野生鳥獣の捕獲状況、猟友会の活動状況、箱わなの活用状況。
③今後の被害防止計画。

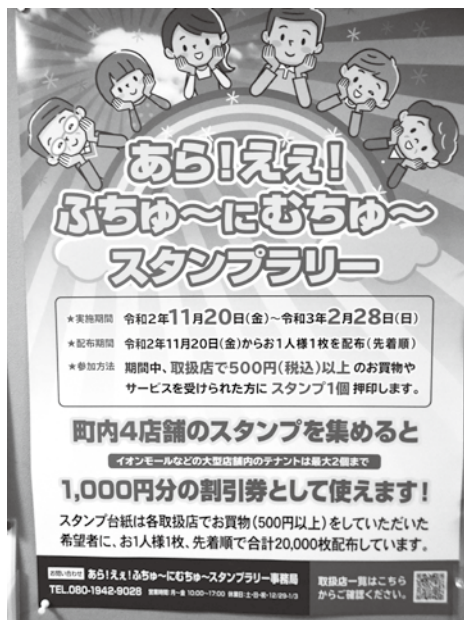
で通報25件、被害が14件です。近年では、イノシシ、シカによる被害の割合が特に高くなっています。
②豪雨災害などの影響で山に入ることができず、捕獲数は減少しています。町には狩猟有資格者からなる府中町有害鳥獣捕獲班があります。箱わなは府中町有害鳥獣捕獲対策協議会が8基所有し、全て設置しています。
③効率的な捕獲、駆除に努めるとともに、「鳥獣被害対策プログラム」をモデルとして、地域の方と連携し、より多くの成果を上げるよう進めています。



カ山 彰 議員

Q 野生鳥獣の被害防止対策は地域の方や県と連携

西山 優 議員
町では、新型コロナウイルス感染症緊急対策事業として、店舗、事業者に対する消費を下支えすることを目的とした「あら！ええ！ふちゅーにむちゅースタンプラリー」を実施しています。実施期間は令和3年



好評を得ているスタンプラリー

2月28日までとしています。台紙の配布現状や町民からの反響はいかがでしょうか。

町民生活部長
町民等の反響ですが、参加店舗からは、「スタンプラリーで初めて来店される方が増えた」など、好評です。



西山 優 議員

Q スタンプラリーの反響は好評で台紙配布終了店舗も

財務部長
①今年度は、青崎東の土地を売却予定で、来年度以降も財政状況に応じ、売却も含め検討します。
②導入可能な施設については、ネーミングライツを導入し、新たな歳入を得ること



コロナ禍に耐えうる歳入確保の検討を

福祉保健部長
発熱などの症状が生じた場合は、かかりつけ医など身近な医療機関に電話相談していただき、受診・相談センター（積極ガードダイヤル）に電話相談すれば、県指定の身近な医療機関を案内してもらえます。

65歳以上の高齢者、妊婦、生後6カ月から小学2年生までの子どもに対し、インフルエンザ予防接種費用を助成しています。今後国・県と連携しながら、さまざまな緊急対策に取り組ま

町長
今は、町民の皆さま一人ひとりがマスクを外す機会をできるだけ少なくするなど、一度、感染防止対策の徹底を行っていただくことに尽きると考えています。

その他の質問
害獣被害対策について



西 友幸 議員

Q コロナ禍での財源確保は新規歳入の確保に努める

西 友幸 議員
新型コロナウイルス感染症の影響下でも住民サービスを低下させることはできず、歳出削減が難しいとなれば、歳入確保を検討すべきと考えます。
①使用見込みのない土地の売却など遊休地を活用した財源確保策は。
②ネーミングライツ（命名権）の導入は。
③公共施設駐車場の有料化は。

で適切な維持管理を継続する力を高めておくことが重要です。来年度からの事業開始を目指し、準備検討を進めています。
③収益事業として有料化を行う場合、運営コストなどが発生するため、相応の利用数が見込まれ、減免

することがない施設が良いと考えられます。近隣市町の事例を参考に検討を進めます。
なお、歳入確保の順番としては、町民に負担を求めないネーミングライツから始めたいと考えています。



川上 翔一郎 議員

Q コロナ対策について国・県と連携し取り組む



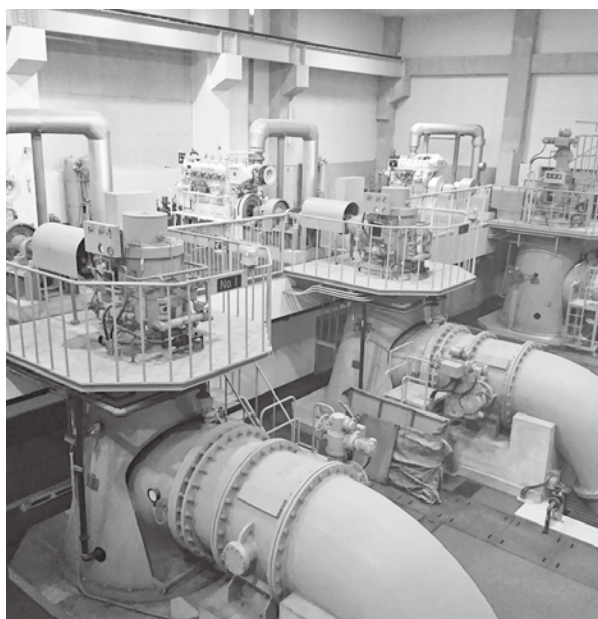
一人ひとりが感染防止対策の徹底を



木田 圭司 議員

Q 下水道施設の老朽化対策は適切な維持管理を行う

木田 圭司 議員
昭和60年から下水道の整備を開始し、大雨の時には活躍するのが町内の3カ所のポンプ場です。雨の状況に応じた運転を行うことで道路冠水など最小限にでき、町民の生命・財産を守るために重要な役割を担っています。そこで雨水・汚水施設の老朽化対策について、これまでの取り組みと今後の計画について伺います。



設備機器を更新中の府中ポンプ場

町民生活部長
雨水施設の老朽化対策は、平成28年度に雨水ポンプ場ストックマネジメント計画、雨水幹線ストックマネジメント計画を策定し、雨水施設の改築更新を順次行い、施設の老朽化対策を進める計画としています。

汚水施設の老朽化対策は、平成30年度に汚水管路ストックマネジメント計画を策定し、汚水管路の老朽化対策を行う計画としています。この計画に基づき、令和元年度は大州処理分区と船越処理分区の

一部、今年度は、八幡第2処理分区と船越処理分区の一部でカメラ点検調査を実施しました。引き続き、ストックマネジメント計画に基づき老朽化対策を実施し、適切な施設の維持管理を行っていきます。

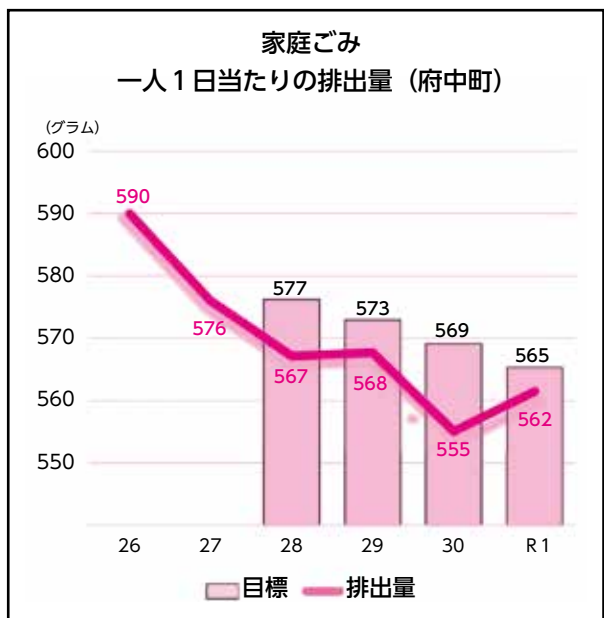


宮本 彰 議員

Q ごみ削減 美しい町に より一層の削減を

宮本 彰 議員
家庭ごみの削減が課題となっていますが、家庭ごみの排出量の推移はどのような状況にあるのでしょうか。また、鳥獣が食い荒らした生ごみなどが散乱している収集箇所が見受けられます。ごみボックスや鳥獣よけネットなどによって防ぐことができると思いますが、購入に補助金を交付する考えはありませんか。

町民生活部長
「家庭ごみの1人1日当たりの排出量の推移」は、町民の皆さまのご協力によりいづれも各年度での目標を達成し、すでに今年度の目標も達成しております（グラフ参照）。しかし、昨年度実施



町民の協力により目標を達成

したごみの組成調査によると、未分別の雑紙の割合が9・1%、手つかずの食料品が3・4%と、まだ減量の余地があると考えています。こういった部分をいかに町民の皆さん、事業者の方に意識して取り組んでいただけるか、どのような施策が効果的かについて検討する予定です。クラス対策用ネットなどについては、町内会補助金などを活用してすでに多くの地域で購入されており、現在、のところ新たに助成制度を導入する予定はありません。



坂田 栄一 議員

Q 街路樹の整備は管理指針の策定を検討



生活の支障になっている街路樹も

坂田 栄一 議員
大きくなった街路樹の陰から小さな子どもが飛び出て車を運転中にヒヤッとする、道がでこぼこでベビーカーが使用しにくいなどの問題が生じています。数年計画で街路樹の

整備を行い、地域住民の意見等を踏まえた魅力あるまちづくりの推進が必要と考えます。街路樹のあり方について、管理指針の策定などが必要だと考えますが、町の見解を伺います。

建設部長
街路樹は、道路の景觀を快適にするほか、道路の安全確保やヒートアイランド現象の緩和、環境を守る機能や日常の生活に潤いをもたらすなど多様な役割がある一方、樹木の過密化、根上りによる通行への支障、倒木等の問題もあります。維持管理として、剪定に合わせて年1回点検を行い、問題がある樹木の早期発見に努めています。また、街路樹に対して、景観を求め保全を望む声と、生活の支障として撤去を望む声があり、相反する意見の対応に苦慮しています。多様なニーズに対応した街路樹の維持管理を盛り込んだ指針の策定を検討します。



橋井 肇 議員

Q 公園トイレの維持管理は使い易いトイレを目指す

橋井 肇 議員
公園トイレは、公園利用者だけでなく通行人の方も利用しており、災害時には多くの近隣住民が利用することが想定されます。高齢者、障がい者、親子づれに配慮した公園トイレの有無と、維持管理、廃止または改

建設部長
町内55カ所の公園のうち30カ所にトイレを設置しています。その中で高齢者、障がい者、親子づれに配慮したトイレは、多目的トイレ

修、新設の予定とその方向性について町の考えを伺います。



安心・安全なトイレの維持を

として27カ所設置しています。清掃は週2回行い、臭気対策の尿石落としを年1回実施しています。また、職員が定期パトロールを行い、異変があった時には適宜修繕を行っています。廃止、新設の予定はありませんが、まずは、トイレ等のバリアフリー化に努め、和式トイレから洋式トイレへの変更を進めていきます。また、清掃回数を増やす等きらいで使いやすいトイレにすることで、利用者のトイレに対するマイナスイメージを変えていきたいと考えています。子育て中の利用者への配慮など課題はまだ多くありますが、引き続き、公園トイレの維持管理に努めます。

人事院勧告に準じ、期末手当の支給割合を改定 ―臨時会―

令和2年第8回臨時会を11月30日に開催しました。本臨時会では、2件の専決処分報告を受けたのち、2件の町提出議案と1件の議員提出議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。

◆条例改正

・府中町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について
・府中町職員の給与に関する条例の一部改正について

令和2年10月の人事院

勧告に準じ、期末手当の支給割合の改定を行うもの。
現行 4・5カ月分
改定後 4・45カ月分

議員提出議案

府中町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
令和2年10月の人事院勧告に準じ、期末手当の支給割合の改定を行うもの。
現行 4・5カ月分
改定後 4・45カ月分

議会の動き

10月

- 8日 初議会(臨時会)
全員協議会、総務文教委員会
厚生委員会、建設委員会
議会運営委員会、議会報特別委員会
災害対策特別委員会
16日 臨時会
21日 総務文教委員会
22日 厚生委員会
23日 建設委員会

11月

- 12日 議会運営委員会
19日 全員協議会
30日 臨時会

12月

- 1日 厚生委員会
2日 総務文教委員会、建設委員会
9日 議会運営委員会
10日 議会報特別委員会
11日～22日 12月定例会
11日～21日 決算審査特別委員会
22日 議会報特別委員会
25日 議会報特別委員会

表紙の紹介



岩谷観音から望んだ初日の出です。昨年は新型コロナウイルス感染症の流行により厳しい1年となりました。感染拡大防止にご尽力いただいたいる医療従事者など多くの方に敬意と感謝を示すとともに、初日の出が新型コロナウイルス感染症を収束に導く一筋の光のように見えました。

編集後記

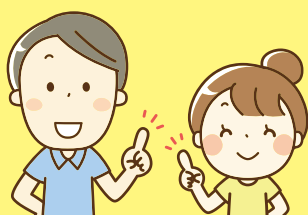
昨年9月に町議選があり、議会報特別委員会のメンバーも一新しました。新委員一同、力を合わせて頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

この「町議会だより」は毎号、紙面のほとんどを一般質問に割いています。一般質問は町の行財政にかかわるあらゆる問題の中から議員一人ひとりが自由にテーマを選び、町に対して質問します。議員にとって、もっとも華やかで意義のある発言の場です。どのようなテーマを選び、どのような質問をしたのかに議員の個性と姿勢があらわれます。私たちは、できるだけ質問と答弁のポイントが分かるように記事を書くことを心掛けていますが、今号はいかがでしょうか。もっと詳しいことが知りたい場合は、町のホームページまたは図書館にあります議事録をご覧ください。

(二見 伸吾)

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は3月上旬の予定です。



事前申し込みは不要です。
ぜひ、お気軽にお越しください。